



旭川地区農業改良普及所 斎藤 瀧夫

### はじめに

ホーレン草は、日本人の食生活に、年間を通じて、かかせない大切な野菜の一つである。

昔から、有名な西洋漫画のポパイが、ホーレン草の缶詰を食べれば、瞬間的に大男のブルートを打っ飛ばし、オリーブ嬢を助ける腕力がうまれて来る誠に快愉な漫画があるが、これは、いかに、ホーレン草が栄養に優れている野菜であるか、又、ホーレン草が食生活の中で重要な野菜であるかを解りやすく知らしめる手段でもあるように思われる。

第1表 栄養分析 (可食部 100 g中)

区 別	種 類	ホーレン草	はくさい	きゃべつ
カ	ロ	28.0	15.0	24.0
リ	ー Cal			
水	分	90.2	94.7	92.3
たん	ぱ	3.0	1.4	1.6
ぱ	く			
脂	肪	0.4	0.1	0.2
炭	水	3.9	2.5	4.4
化	糖			
物	質	0.9	0.5	0.8
	纖			
灰	維	1.6	0.8	0.7
	分			
カル	シ	98.0	33.0	45.0
ウム	ウ			
ナト	リ	25.0	20.0	15.0
リ	ウ			
	ン	52.0	40.0	22.0
	鉄	3.3	0.6	0.4
ビ	A	2,600	33	33
	効			
	力			
	カ	8,000	100	100
	ロ			
	リ			
タ	D	0.12	0.05	0.08
	B <sup>1</sup>			
ミ	B <sup>2</sup>	0.30	0.05	0.05
	B <sup>2</sup>			
ン	ニ	1.0	0.5	0.5
	コ			
	チ			
	ン	100	40	50
	酸			
	C			

### 旭川地方におけるホーレン草栽培型の背景

#### 1 市場性から見る

近年のホーレン草市場取扱い、(旭市場取扱い調査)では、昭和44年度より昭和47年までの年間取扱い数量は950t前後で、48年は639tと干魃により少なくなっている。道内産のこれまでの取扱い割合は、昭和44年の35%から、昨年の50%へと、生産は増強され、道内産の占有率は漸次高まりつつある、ただし、5月から10月までの道内自給率は、90~100%の高い比率を示している。

価格は、作付面積、気象等の諸条件によって、ホーレン草の生産量は、大きく左右され、その影響によって価格の高低があり、やや不安定の傾向にある。

月別には、4月~5月の早出し道内産の新鮮もの、7月~9月の良質生産の困難性時期のもの等は高価格維持の可能性がある。従ってこの時期のホーレン草栽培は、近年他品目に比べて、有利性がまだ発揮されているものと思われる。

第2表 年度別取扱い量並道内、外、比率 (旭調べ)

年度	(旭) 道内・外比率		年間取扱い量
昭和44年	39.5 %	60.5 %	931 t
〃 45年	44.0	56.0	857
〃 46年	36.0	64.0	971
〃 47年	52.0	48.0	951
〃 48年	51.0	49.0	639

□ 道内    ▨ 道外

第3表 年度産地別1k単価 (旭調べ)

年 度	区 別	道 内 産	道 外 産
昭 和	45 年	61 円	94 円
	46	104	77
	47	69	75
	48	115	133

(注) 平均価格

#### 2 地域性から見る

旭川市のホーレン草作付面積は、市役所調べでは、約30haとされている。主なる栽培地区は、神楽地区、近文地区、新富地区で、かつて、道北野菜の主産地としてトマト、キュウリ、ナス、西

第4表 4月下旬～5月上旬早出し期取り扱い数量並1k単価(旭調べ)

年次	区別	1k当り平均価格(平均)				取り扱い数量			
		4月下旬		5月上旬		4月下旬		5月上旬	
		道内	道外	道内	道外	道内	道外	道内	道外
46年		円 117	円 94	円 105	円 131	t 2.6	t 23.1	t 21.6	t 1.3
47年		円 92	円 57	円 99	円 74	t 10.6	t 9.8	t 22.2	t 0.6
48年		円 342	円 117	円 284	円 117	t 3.6	t 10.2	t 8.7	t 2.1

瓜等の夏果菜類が作られた野菜専門栽培地帯であったが、現在はこれ等の地帯は、市街地化され、高級住宅が建ち並ぶ、谷間の農地となり、果菜類から、ホーレン草、レタス、ネギ、パセリー、セルリー、シュンギク等の小もの栽培地区として、新産地の形成をはかっている。

農家も都市化の中にあるので、農地が散在し、経営規模は、極めて狭く、40～50aで、ほとんどが兼業化され、その栽培品目は、ホーレン草を主体とした、小もの野菜の栽培である。

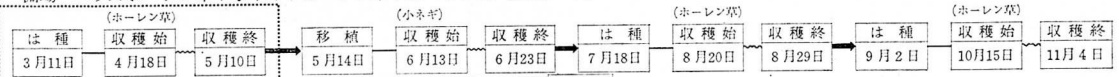
ホーレン草は、もともと旭川野菜の重要品目で、キュウリ、ナス、トマトの果菜類の跡地作として、秋ホーレン草が栽培され、道東北地方の需要を一手に賄って来た。

昭和45年頃より、ハウス利用による、ホーレン草の4月早出し、又は秋出しに小もの野菜類を組合せた栽培型によって、小面積高収益を目標とし、その経営に真剣に取り組んで今日に至った。

第5表 旭川市神楽地区(中野頭一氏)の場合

1) ホーレン草栽培を主軸とした野菜栽培体系(46アール)

1. 圃場 ハウスホーレン草+小ネギ+ホーレン草+ホーレン草(0.3アール)



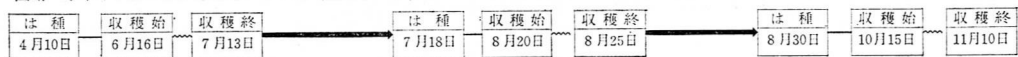
2. 圃場 ホーレン草+ホーレン草+ホーレン草+ホーレン草(0.8アール)



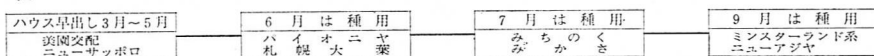
3. 圃場 長ネギ+ホーレン草(25.0アール)



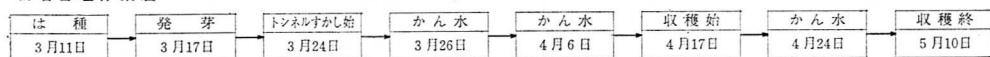
4. 圃場 小ネギ+ホーレン草+ホーレン草(10.0アール)



2) 栽培品種



3) 栽培管理作業暦



ホーレン草の特性が、旭川の立地条件に適す。

- 1 冷涼な気候を好み、高温では生育が悪い。
- 2 長日性であるので、日長時間の長い場合は抽苔しやすい。
- 3 長根性であるため耕土の深い、腐植に富んだ砂壤土が最適

である。

- 4 酸性に弱く、p.H 6.5～7.0の範囲がよい。
- 5 基肥は全面施用とする。
- 6 栽培時期によって適品種を選ぶ。

これ等の要点を満す栽培条件としては、特に旭川の神楽地区は、忠別川、近文、川端地区、新富地区、は石狩川、牛朱別川等沖積層で、肥沃度、物理性に富んだ良質生産の土壌条件を備えている。

また、労働力には、市街地化の中であるので、容易に安価な人手が得られる地域で、しかも、市場に近い。

ハウス栽培を取り入れた、ホーレン草栽培型

- 1 旭川市神楽地区(中野頭一氏)の場合は第5表に示した。
- 2 ハウス、ホーレン草栽培(中野頭一氏の場合)

1) ハウスの播種準備

ハウス（神楽型耐雪型）に、秋10月20日に、グリーンエスのビニールを張り、施肥は10a換算堆肥、7,000 kg、鶏糞200 kg、葉菜化成150 kg、苦土石灰120 kgを耕土と十分に混和しその後、古ビニールで覆土し、更に、その中に稲ワラ束を並べ土の凍結を防ぐ、ハウスは、無加温栽培である。

2) 早出し用適品種

美園交配ニューサッポロを使用

- ① 生育が極めて旺盛で太りが早い。
- ② 収穫は、他品種よりも1週間位早く、経済性が高い。
- ③ 抽苔が他の品種よりも晚い。

3 播種法

播種を3月11日としたので、その前に種子の催芽を行い、畦幅20cmに播幅10cmとして播種、種子量は10a4~5l程度、播種後は充分灌水、ポリ、シルバーの2重トンネルとする。

4 ハウス栽培管理の要点

- ① 高温、乾燥にならないようにする。
- ② 過湿にならないようにする。
- ③ 液肥の施用。
- ④ 病害虫の防除。
- ⑤ 草丈25cm前後になったら「すぐり葉」方式で収穫する。

5 ハウスの管理

ハウス内は、24~25°C以上にならないように、ハウス内のトンネルのスソを開け換気するが、その場合、中央部の通路側だけに止めて生育の促進をはかる。

ハウス内は、次第に高温になるので、地温、気温を観測して、トンネル、ハウスの開閉を適切に行い、早期に緑色、厚味のある、商品価値のある葉の仕上げに努める。

また、病虫害では、ハウス内を高温、過湿にすると、べト病の発生要因になるので、過湿に注意し、農薬の散布を収穫期前に行う。

ハウス、ホーレン草栽培の粗収入

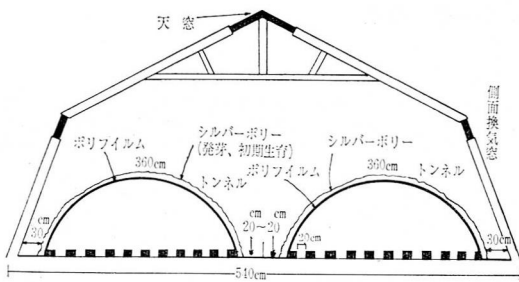
中野頭一氏の場合に昭和48年は、第6表のように、異常高粗収入になった理由は、出荷期の国鉄の順法闘争により、市場が極端な品不足となり、消費者の強い新鮮野菜欲求現象からでもあり、例年同じとは考えられない。しかし、今年春も府県産地の干魃等から、昨年に準ずる傾向にある。

今後の課題

1 旭川市場、全道市場、ともに3月~4月のホーレン草の道外産ものが、90%依存されている事から、容易に無加温ハウスで栽培可能な早出しホーレン草栽培は、まだ、今後当分有利な野菜栽培として、期待を持ってよいのではないかと思われる。

2 ホーレン草栽培の地力改善は、特に旭川のような、小面積での連続栽培地区では、現在行なわれている、酪農家、養鶏家、養豚家との堆肥契約供給を更に強力に推進すると同時に、圃場の土壌消毒等が重要な課題と思われる。

3 加温ハウス利用の促成ホーレン草栽培の経済性を検討し、もう一步、道内産ものの収益性と自給性を高める事も今後の課題の一つだと思います。



第1図 神楽式耐雪型ハウス

第6表 ハウス、ホーレン草の収穫量と単価（中野頭一氏）

出荷日数	4月18日	19日	20日	21日	23日	24日	5月2日	4日	5日	10日	393 m <sup>2</sup> (ハウス)	10アール換算
出荷束数	240	360	420	450	510	390	480	360	300	388	3,898	10,042
1束当り単価(円)	120	120	115	125	140	120	110	120	115	100	円	円
金額(円)	28,800	43,200	46,300	56,250	71,400	46,800	52,800	43,200	34,500	38,800	462,050	1,261,397

(注) 1束200g